

## 野菜や花の直売会を開催

9月5日、JCHO秋田病院において、生物資源系列の1年生4人が農産物の直売会を開き、能代西高農場で育てられたねぎや枝豆、かぼちゃなどを販売しました。毎年行っているということで周知もされており、病院を訪れた人はもちろん病院の先生からもお買い上げいただき、午前中には完売となりました。生徒たちは、農産物の品種や特徴、栽培方法などを訪れた方々に説明しながら販売を行っていました。

この取組は、農産物の栽培から販売までを行うことで、6次産業化への理解を深め、経営感覚を兼ね備えた農業者の育成を図ることを目的にしています。

今回参加した大森紅華さんは「2、3年生が大事に育てたものを完売させることができうれしい。たくさんの方が買いに来てくれてうれしかった」と話してくれました。



←多くの買い物客で賑わいました



## 満開のひまわり畑



能代西高農場の「ひまわり」が8月下旬に満開を迎え、多くの方が訪れました。

9月1日には八森小学校の児童約40名が訪れ、生活福祉学科の2年生が児童たちに説明をしながら、農場を歩きました。能代西高のひまわりは「ハイブリッドサンフラワー」といい草丈が150cmとやや低く、花の咲いている期間が長いのが特徴です。

秋には「コスモス」が能代西高農場で咲き誇ります。どなたでも観賞や来場は自由なので、ぜひお越しください。

## 四角いスイカの制作に成功



夏の代表的な果物であるスイカ。みなさんは、スイカの特徴は丸くて、しましま模様などがイメージされると思います。しかし、生物資源系列3年生の生徒5名は四角いスイカを作ることになりました。作り方は、育ちきっていないスイカを四角形の透明なアクリル板に入れて育てます。スイカが成長してもその枠の中で押さえつけられて結果四角いスイカができあがるそうです。

リーダーの田村拓晃君は「去年よりうまく育てることができた」と話してくれました。四角いスイカは観賞用で希少価値があり1玉1万円以上するそうです。